

R5 農事メモ(第6号)

令和5年7月14日
白山石川営農推進協議会
松任市農業協同組合

「斑点米カメムシ類多発注意報」が7月6日に発令されました

1. 令和5年度 白山石川地区雑草地カメムシ調査結果

6月下旬調査 42地点 109か所

年次	シラホシカメムシ類	飛翔性カメムシ類				合計
	トゲシラホシカメムシ	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	カスミカメ類		
				アカスジカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	
R 5	0.04	0	0.02	1.01	3.34	4.41
R 4	0.20	0	0.04	1.36	4.27	5.86
対平年比 (%)	36	0	33	66	130	103
過去10年平均	0.11	0.00	0.06	1.53	2.57	4.27

○雑草地生息調査では 前年より少ないが、平年並みになっています。

○種類ではアカスジカメムシ・アカヒゲホソミドリカスミカメなど飛翔性のカメムシが多く捕獲されました。

カメムシ類は植物の種子を吸汁しながら、雑草地や水田を移動します。

特に飛翔性のカメムシは穂が出ている植物に向かって移動しますので、きれいな畦畔を維持するか収穫直前まで畦畔除草をやめましょう。

2. カメムシ類水田侵入盛期予想と防除適期 (液剤・粉剤)

	7月																8月																										
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	18												
ゆめみづほ	出穂				飛翔性カメムシ類の侵入盛期																																						
					防除														シラホシカメムシ類の侵入盛期																								
コシヒカリ															出穂			飛翔性カメムシ類の侵入盛期																									
																		シラホシカメムシ類の侵入盛期																									

※ 防除方法や薬剤は裏面を参照ください。

適期防除できれいなお米に仕上げよう

3. 基幹防除薬剤

(1) コシヒカリ（出穂7月29日頃）

体系	散布時期	対象病虫害	薬剤名	使用量 10a 当たり	散布時期の 目安	本剤の 使用回数	注 意 事 項
粒 剤 防 除	1回目	いもち病 カメムシ類 縦枯病 ウンカ類 他	イモチエース スタークル粒剤	3 kg	7月20日 ～24日	1回	使用時期： 収穫35日前まで
			ワイドパンチ豆つぶ	250g		1回	使用時期： 収穫35日前まで
	2回目	カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤	3 kg	8月3日 ～8日	3回以内	使用時期： 収穫7日前まで
			スタークル豆つぶ	250g			
液 剤 防 除	1回目	いもち病 カメムシ類 縦枯病	①ビームエイト スタークルゾル + ②バリダシン液剤5	①60～150L (1000倍) ②60～150L (1000倍)	7月27日 ～31日	①3回以内 ②5回以内	使用時期： ①収穫7日前まで ②収穫14日前まで
	2回目	いもち病、カメムシ類 ウンカ類、ツマグロヨコバイ	ビームエイト スタークルゾル	60～150L (1000倍)	8月3日 ～8日	3回以内	使用時期： 収穫7日前まで

4. 出穂以降～刈取直前までの水管理

- (1) 出穂から開花期は、水分補給を目的に湛水状態（花水）とする。
- (2) 開花期以降は、2～3日おきの間断通水により、飽水管理を行い、根の活力を維持する。
- (3) 間断通水では、地温を下げる夜間入水が効果的。
- (4) フェーン現象等の異常高温・強風が予想される場合はあらかじめ通水する。
- (5) 少なくとも刈取3～4日前までは間断通水を継続し、高温登熟の場合は刈取直前まで通水する。

5. いもち病の発生に警戒

梅雨入り後、いもち病が発生しやすい日が続いています。
箱剤無施用、葉色が濃い場合は要注意！！



いもち病の病斑